

ベネッセの小中学校向け ICT 学習支援ソフト「ミライシード」 協働学習アプリ「オクリンクプラス」で「Canva」との連携機能をリリース

世界有数のオンライングラフィックデザインソフトとの連携により、
スライド作成時の表現力と管理の利便性がさらに向上

株式会社ベネッセコーポレーション（本社：岡山県岡山市，代表取締役会長兼社長：岩瀬大輔）は、小中学校向け ICT 学習ソフト「ミライシード」内に搭載する協働学習アプリ「オクリンクプラス」とオンライングラフィックデザインソフト「Canva」の連携機能をリリースいたします。

「ミライシード」は 2025 年 3 月現在全国の小中学校のおよそ 35%にあたる 10,200 校・360 万人以上の児童生徒に活用されています。今回の連携は、協働学習用アプリ「オクリンクプラス」の授業利用での効率性を向上させるとともに、児童生徒の表現力と主体的・対話的で深い学びをより一層充実させることを意図したものです。

今回の連携機能では、優れたグラフィックデザイン機能を持ち小中学校での活用も多い「Canva」で作成したスライドを、「オクリンクプラス」内でシームレスに活用でき、さらに「Canva」で作成した成果物の管理をミライシード内で行うことも可能にいたします。

この連携により、教員の両ソフト間にわたるデータ管理の負荷をおさえながら、児童生徒は「Canva」の豊富なテンプレートや素材を使ってより表現力の高いプレゼンテーションを行うことが可能になり、「オクリンクプラス」の協働的な学習の指導環境がさらに充実します。今後は、ICT 支援員の連携など、両者の連携をさらに進めていくことを構想しております。

また、今後、当社では今回の連携に関するウェブセミナー等を今後行う予定です。詳しくはミライシードファンサイト等 (<https://bso.benesse.ne.jp/miraiseed/fansite/index.html>) でお知らせいたします。

当社では「ミライシード」のより一層の利便性向上に向け、アプリケーションの改善や他のサービスとの連携を今後も進めてまいります。

■ オクリンクプラス×Canva 連携の概要

「オクリンクプラス」内で連携に関わる利用設定を行うと、メニューバーに「Canva」ボタンが表示され、再ログインの必要なく「Canva」で作成したスライドをカードとして挿入することができるようになります。（下図）



「オクリンクプラス」内でカードとして取り扱うことができるため、教員と児童生徒や、児童生徒同士でカードを送りあったり、コメントやリアクションを付けあったりすることができ、協働学習に活用できます。また、このカードは成果物としてミライシードに保存されるため提出物の管理や、子どもたちの活動の見取りとしても活用することができます。

■「ミライシード」について（サービスの概要）

ベネッセコーポレーションでは、小中学校向けに、一斉学習・協働学習・個別学習それぞれの学習場面に对应した、小中学校向け ICT 学習ソフト「ミライシード」を提供しています。

「ミライシード」は、AI を搭載したデジタルドリル「ドリルパーク」、CBT 形式の単元テスト「テストパーク」、直観的な操作で子どもが自由に考えを表現でき、個別学習・協働学習・振り返りに活用できる授業支援アプリ「オクリンクプラス」など複数のアプリを搭載し、教育の DX 化をサポートします。

2025 年 3 月現在、「ミライシード」は、全国の小中学校のおよそ 35%にあたる 10,200 校・360 万人以上の児童・生徒にご活用いただいています。

▶「ミライシード」ウェブサイト：

<https://www.teacher.ne.jp/miraiseed/>

▶「ミライシードファンサイト」先生向け活用支援サイト：<https://miraiseedfansite.benesse.ne.jp/>



■「オクリンクプラス」について

「ミライシード」内に搭載した協働学習用アプリです。個別学習・協働学習・振り返りがひとつのアプリ内で完結できます。2024 年度より提供を開始しました。

児童・生徒には、シンプルな機能と直感的な操作性をもって個人の思考を深め、まとめる、自由に表現できる環境を提供し、子ども主体で学び合う授業環境をサポートします。

また、教員向けには、子ども一人ひとりへ最適な指導ができるように、全員の提出物を一覧で管理や、個別の添削やコメントも行えるなどの機能も搭載しています。

1 子ども同士の学び合いを促す機能

- カードの共同編集
- コメント機能
- 集計機能



2 思考や表現を広げる機能

様々なカード・ボード機能

- カードサイズ変更
- バーコード読み取り
- 縦方向のストーリー
- 検索したページのカード化
- 図形へのテキスト入力
- 動画を見ながらのカード作成



3 子ども自身の振り返りをサポートする機能

- 授業ボード
- カードへのタグ設定
- 再提出機能



4 提出物へのフィードバック・評価機能

提出物へのフィードバックも様々な方法を用意。まとめて添削・返却ができながらも、一人ひとりの評価付けも可能です

- ペン
- コメント
- スタンプ
- 評価機能



※上記機能については、順次拡張を予定しています。